

政策シート

(政策名) 市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進
(予算費目名) 天竜区役所費

(総合計画体系)

「分野」	地方自治・都市経営
30年後の姿	協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none"> 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

◇政策の概要

森林と水 生命はぐくむ 天竜区 「豊かな自然と地域特性を活かし、安心して定住できるまち」を目指します。
《区政運営の6つの基本方針》
①安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。
②区民の目線で地域福祉などの行政サービスを提供します。
③市民協働で区の魅力・情報を発信します。
④自然との共生・保全と環境への貢献、森林資源の活用を図ります。
⑤地域の資源を活かし、心の豊かさにつなげる文化振興に取り組みます。
⑥ふるさとに愛着を持ち、今後もいきいきと活躍できる地域を目指します。

◇関連するSDGsのゴール

④教育	⑤陸上資源	⑦実施手段						
-----	-------	-------	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	403,770	507,680				
決算	356,767					
人件費(A)	161,900	161,900				
報酬(B)	1,292	1,781				
年間経費(予算又は決算+A+B)	519,959	671,361				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
区協議会開催回数(回)	回	目標	12	12	12	12	12	12
		実績	12					
地域力向上事業実施件数(件)	件	目標	30	30	30	30	30	30
		実績	28					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

森林と水 生命はぐくむ 天竜区 ～豊かな自然と地域特性を活かし、安心して定住できるまちを目指します。～
《区政運営の6つの基本方針》
①安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。
②区民の目線で地域福祉などの行政サービスを提供します。
③市民協働で区の魅力・情報を発信します。
④自然との共生・保全と環境への貢献、森林資源の活用を図ります。
⑤中山間地域振興計画に基づき、地域活性化の取り組みを進めます。
⑥地域の資源を活かし、心の豊かさにつなげる文化振興に取り組みます。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
区協議会	12回開催
地域力向上事業	28件実施

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		会計年度 (人事課)
1	区管理運営事業					229,286	121,286	13.6	2.0		2.0	
2	協働センター等管理運営事業					337,752	295,752	6.0				
3	区協議会運営事業					4,721	140	0.4			1,781	
4	地域力向上事業	○	○	○		26,977	22,777	0.6				
5	行政連絡文書配布事業					31,600	30,900	0.1				
6	旧天竜地域自治区ふるさとづくり事業基金積立金				○							
7	自治会振興事業					16,873	15,473	0.2				
8	鹿島花火大会開催事業(負担金)					5,519	4,819	0.1				
9	天竜区交流促進事業(負担金)	○		○		12,388	11,688	0.1				
10	森林のまち童話大賞事業					1,700	1,000	0.1				
11	天竜区駅伝大会事業(負担金)					4,545	3,845	0.1				
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						671,361	507,680	21.3	2.0		2.0	1,781

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 区管理運営事業

◇事業目的・事業対象

市民に身近な行政機関として、総合的な行政サービスの提供の場としての施設・設備機能の整備、維持管理等を行う。

◇事業の概要

- ①区役所運営事業
区役所の行政サービスを円滑に実施するため必要な事業を実施する。
- ②公有財産維持管理事業
天竜区内の公有財産を適切に管理するために必要な事業を実施する。
- ③庁舎維持管理事業
天竜区役所として庁舎を市民が快適、安全に使用していただくために必要な事業を実施する。
- ④公用自動車管理事業
公用車を安全に運行するために必要な事業を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	114,624	121,286				
	決算	106,458					
	国・県支出						
	市債						
	その他	8,821	12,614				
	一般財源 一般会計繰入金	97,637	108,672				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		108,000	108,000				
人工	正規	13.6	13.6				
	再任用(h31)	2.0	2.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	2.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
市民への約束評価月間アンケートにおける指標(平均点)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
実績値	4.7	4.6					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>①区役所運営事業 区役所の行政サービスを円滑に実施するため必要な事業を実施した。</p> <p>②公有財産維持管理事業 天竜区内の公有財産を適切に管理するために必要な事業を実施した。</p> <p>③庁舎維持管理事業 天竜区役所として庁舎を市民が快適、安全に使用していただくために必要な事業を実施した。</p> <p>④公用自動車管理事業 公用車を安全に運行するために必要な事業を実施した。</p>
--

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="計画通り"/></p> <p>令和元年度 市民への約束評価月間アンケート 区役所平均 4.58点 (市全体の平均4.51点)</p>

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

[区役所運営事業] 職員研修等を通じて、職員の意識改善を図り、質の高い行政サービスの提供を目指した。
[公有財産維持管理事業] 普通財産の維持管理、土地・建物等の貸付料徴収事務、売払事務を行い、適切な財産管理を行った。
[庁舎維持管理事業] 昼休みの消灯など、適切な維持管理により経費削減を図った。
[公用自動車管理事業] 公用車の適切な維持管理と安全運転の啓発を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

区役所管理・運営に必要な事業であることから、事務改善に取り組みながら、継続実施していく。

事業シート (事業名) 協働センター等管理運営事業

◇事業目的・事業対象

- ①身近な行政サービスの拠点である協働センター・ふれあいセンターの管理運営を効率的に実施する。
- ②市民に適切で迅速な行政サービスの提供を行う。
- ③生涯学習の推進を図るための機会、場所、情報を提供する施設として、ふれあいセンターの適切な維持管理を行う。

◇事業の概要

協働センター及びふれあいセンターの運営・維持管理
 市民に身近な行政サービスの提供
 社会教育団体や地域団体への施設貸し出し業務
 各種講座の開催

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	185,346	295,752				
	決算	153,957					
	国・県支出						
	市債						
	その他	8,183	136,287				
	一般財源	145,774	159,465				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		42,000	42,000				
人工	正規	6.0	6.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育	○ 4.a	⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	○ 17.17
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

区役所から離れた地域の方も平等な市民サービスを受けることができるように、身近な行政サービスの拠点である協働センター・ふれあいセンターの管理運営を効率的に実施する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
ふれあいセンター利用者数(人)					-	-	-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	70000	70000	70000	70000	70000	70000	70000
実績値	67408	70875					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
市民協働スペース利用回数(回)					-	-	-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	150	150	150	150	150	150	150
実績値	171	208					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

協働センター及びふれあいセンターの運営・維持管理
市民に身近な行政サービスの提供
社会教育団体や地域団体への施設貸し出し業務
各種講座の開催

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

ふれあいセンター8館の利用者数 70,875人

市民協働スペース利用回数 208回

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

地域に密着した施設である協働センター・ふれあいセンターの適切な維持管理を行い、来庁者に安心して利用していただいた。

設備保守等の委託は一括契約・発注を行い維持管理費の削減に努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

必要な修繕等を行い、利用者の安全・安心の確保、サービスの向上を図る。

各協働センターに設置した「市民協働スペース」の利用促進を図る。

事業シート (事業名) 区協議会運営事業

◇事業目的・事業対象

地域の意見を行政に的確に反映させるため、天竜区協議会の円滑な運営を行う。

◇事業の概要

- ①区協議会の開催 月1回 年間12回を予定
- ②会議録の作成
- ③ホームページ等による情報公開

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市区及び区協議会の設置等に関する条例	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	140	140				
	決算	110					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	110	140				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)		1,292	1,781				
人件費(千円)		2,800	2,800				
人工	正規	0.4	0.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	○ 17.17
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

区協議会は様々な団体の意見を行政運営に反映させ、地域における市民協働を推進する役割を果たしているため

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
区協議会開催回数(回)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	12	12	12	12	12	12	12
実績値	12	12					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ①区協議会の開催 年間12回実施
- ②会議録の作成
- ③ホームページ等による情報公開

・事業の成果と課題

指標の達成度

区協議会開催 12回

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

天竜区協議会の円滑な運営により、広大な地域の多様な意見を行政に反映することができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も地域と行政との橋渡し役として、活発な議論のできる場を提供していく。

事業シート (事業名) 地域力向上事業

◇事業目的・事業対象

多様な主体が対等な立場に立ち、相互に活躍する取り組みを通じて住みよい地域社会を実現するため、区民の参加と協働により区の特性を活かした事業や課題を解決する事業を実施する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.191】

次の3種類の区分の事業を実施

①市民提案による住みよい地域づくり助成事業

団体からの提案に基づき、市が公益上の必要を認め、団体が主体的に取り組む事業へ補助金を交付する。
 (令和2年度当初 実施予定事業 1件)

②区民活動・文化振興事業

地域の活性化や文化振興のため、市民協働の観点を取り入れて事業を実施する。
 (令和2年度当初 実施予定事業 11件)

③区課題解決事業

区内の課題を解決するため、市民協働の観点を取り入れて事業を実施する。
 (令和2年度当初 実施予定事業 12件)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H28	H30	一般会計	自治事務(その他)	地域力向上事業実施要綱・市民提案による住みよい地域づくり助成事業費補助金交付要綱	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	28,107	22,777				
	決算	23,005					
	国・県支出						
	市債						
	その他	14,292	16,024				
人件費(報酬等)(千円)	一般財源	8,713	6,753				
	一般会計繰入金						
人工	人件費(千円)	4,200	4,200				
	正規	0.6	0.6				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

新規事業提案の増に向けた取り組み実施。
 コミュニティ担当職員を中心に、事業提案のフォローを実施。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
地域力向上事業実施件数(件)					-		191
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		30	30	30	30	30	30
実績値	28	28					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

次の3種類の区分の事業を実施

①市民提案による住みよい地域づくり助成事業

団体からの提案に基づき、市が公益上の必要を認め、団体が主体的に取り組む事業へ補助金を交付した。
(令和元年度実施事業 6件)

②区民活動・文化振興事業

地域の活性化や文化振興のため、市民協働の観点を取り入れて事業を実施した。
(令和元年度実施事業 11件)

③区課題解決事業

区内の課題を解決するため、市民協働の観点を取り入れて事業を実施した。
(令和元年度実施事業 11件)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

成果

事業実施による地域コミュニティの醸成、市内間交流の活性化につながった。

課題

人口減少に伴う団体のマンパワーの低下、自己資金の確保。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き市民からの提案を積極的に募集し、市民協働の理念に基づいた事業を実施していく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

新規事業提案の増に向けた取り組みを実施する。

コミュニティ担当職員を中心に、事業提案のフォローを実施する。

補助シート (事業名) 地域力向上事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
191	公益性のある以下の事業に対して助成等を行う。 ・市民提案による住みよい地域づくり助成事業 ・区民活動・文化振興事業 ・区課題解決事業	公益性のある以下の事業に対して助成等を行う。 ・市民提案による住みよい地域づくり助成事業 ・区民活動・文化振興事業 ・区課題解決事業	公益性のある以下の事業に対して助成等を行う。 ・市民提案による住みよい地域づくり助成事業 ・区民活動・文化振興事業 ・区課題解決事業	公益性のある以下の事業に対して助成等を行う。 ・市民提案による住みよい地域づくり助成事業 ・区民活動・文化振興事業 ・区課題解決事業
〇〇				

事業シート (事業名) 行政連絡文書配布事業

◇事業目的・事業対象

広報はままつ等の地域住民に密接な市政の情報を確実・正確に配布・回覧することを目的に行う。また、これにより、地域の人同士のふれあいや相互理解が図られ、コミュニティの維持、形成にも効果がある。

◇事業の概要

広報紙等の行政連絡文書を天竜区自治会連合会に委託し、自治会組織を通じて各世帯に配布する。広報はままつや議会だよりなどの行政文書の配布や回覧、物品の配布、ポスターの掲示、その他必要な調査等を行う。

配布予定世帯数 10,766世帯

業務内容 行政連絡文書の年間23回の配布及び回覧並びに必要な調査業務等を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	30,611	30,900				
	決算	29,717					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	29,717	30,900				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	○ 17.17
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

市政や事業等の周知、調査等を行うためには、住民組織を代表とする自治会とのパートナーシップにより行うことが不可欠である。

また、市政情報の配布・回覧業務を自治会に委託することにより、地域の人同士のふれあいや相互理解が図られ、コミュニティの維持、形成につながる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

広報紙等の行政連絡文書を天竜区自治会連合会に委託し、自治会組織を通じて各世帯に配布する。広報はまつや議会だより等の行政文書の配布や回覧、物品の配布、ポスターの掲示、その他必要な調査等を行った。

配布世帯数 10,870世帯

業務内容 行政連絡文書の年間23回の配布及び回覧並びに必要な調査業務等

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

人口減少、高齢化が進む中で、地域のコミュニティの維持、形成が図られた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

人口減少、高齢化が進む中で、地域のコミュニティの維持、形成が図られた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

現状の委託方法を継続しながら必要な見直しを実施していく。

事業シート (事業名) 旧天竜地域自治区ふるさとづくり事業基金積立金 【完了】

◇事業目的・事業対象

天竜地域自治区の特性を生かし自主的かつ主体的な地域づくり事業の推進を図るため設置された「浜松市天竜地域自治区ふるさとづくり事業基金」の運用利息の積立を行う。
 ※令和元年度末基金残高0円、条例廃止

◇事業の概要

基金を確実かつ有利な方法により管理している。
 (令和元年度末 廃止)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市旧天竜地域自治区ふるさとづくり事業基金条例	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1					
	決算	1					
	国・県支出						
	市債						
	その他	1					
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)							
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

基金を確実にかつ有利な方法により管理している。
 ※令和元年度末基金残高0円、条例廃止

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 自治会振興事業

◇事業目的・事業対象

自治会活動が円滑にできるよう、防犯灯設置維持管理助成事業を行う。

◇事業の概要

防犯灯設置維持管理助成事業・・・自治会で管理する防犯灯に対する設置、維持管理に対する補助金。

令和2年度

新設140灯(共架式100灯、独立式40灯)

維持費(電気料) 6,100灯

管理費(補修費) 60灯

集会所整備事業費補助事業・・・自治会が所有する建物またはその部分の整備に対する補助金

令和2年度

改修 1自治会(1棟分)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市集会所整備事業費補助金要綱 等	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	19,555	15,473				
	決算	18,247					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	18,247	15,473				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		1,400	1,400				
人工	正規	0.2	0.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
自治会集会所(新築・増改築)補助対象数(件)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	2	2	2	2	2	2	2
実績値	4	4					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
防犯灯設置新設数(灯)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	90	90	90	90	90	90	90
実績値	67	95					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

防犯灯設置維持管理助成事業・・・自治会で管理する防犯灯に対する設置、維持管理に対する補助金
 令和元年度
 新設95灯
 維持管理 5,868灯

集会所整備事業費補助事業・・・自治会が所有する建物またはその部分の整備に対する補助金
 令和元年度
 改修 3自治会(3棟分)
 新築 1自治会(1棟分)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

更新(LED化)5か年計画 H25年度~H29年度 ※R1年度末 達成率99%

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

地域の犯罪防止や交通安全の推進を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

自治会と連携し、適切な設置に努めていく。

事業シート (事業名) 鹿島花火大会開催事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

毎年8月第1土曜日に開催される伝統の鹿島花火大会事業のうち「来場者の安全確保」「会場の環境保全」を図り、花火大会の円滑な運営を支援する。

◇事業の概要

8月1日(土)に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,819	4,819				
	決算	4,819					
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,000	3,000				
	一般財源	2,819	1,819				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
主催者発表観客数(万人)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	8	8	8	8	8	8	8
実績値	9	9					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

8月3日(土)に開催

以下の経費相当分を負担金として支出した。

- ①大会会場及び周辺における来場者の安全確保(交通整理・会場警備等)
- ②大会会場の環境保全のためのゴミ用コンテナ設置
- ③大会会場に仮設トイレを設置
- ④大会会場までのメイン道路を封鎖し歩行者専用道路を設置

・事業の成果と課題

指標の達成度

8月3日(土)開催、約90,000人(主催者発表)が来場した。来場者の安全と会場の環境保全の確保ができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成28年度から、遠州鉄道西鹿島駅から会場までのメイン道路を歩行者専用道路としたことで、混雑の緩和と安全確保の強化が図れており、沿線居住者の理解も浸透してきている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・花火大会等イベント開催時における事故発生を防ぐため、安全対策は従来に増して重要視すべき必要がある。このため、来場者数や会場・周辺道路の混雑状況等を想定し、安全確保を主体とした配置計画、設置計画を立てる。
- ・天竜区を代表するイベントであり、引き続き市は、関係機関と協力し、安全対策、環境対策等へ関与していく。

事業シート (事業名) 天竜区交流促進事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

各地区の歴史や文化など地域の魅力をPRし、交流人口の増大を図るため、各地区で行われる産業観光まつり(5つの産業祭を「北遠秋まつり」としている)の実施を支援する。

◇事業の概要

各地区で行われる産業観光まつりの開催支援

天竜産業観光まつり
みさくぼ夢街道
フェスタ佐久間
ほっとぴあたつやま
はるの産業まつり

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	-	一般会計	自治事務(その他)		○	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	11,688	11,688				
	決算	11,688					
	国・県支出						
	市債						
	その他	7,000	8,000				
	一般財源	4,688	3,688				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
来場者数(万人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	7	7	7	7	7	7	7
実績値	6	6					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

各地区で行われる産業観光まつりの開催支援
 天竜産業観光まつり(11/3)
 みさくぼ夢街道(11/10)
 フェスタ佐久間(11/10)
 ほっとびあたつやま(11/10)
 はるの産業まつり(11/16、17)

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

令和元年11月に各地で産業祭を開催した。天竜(約15,000人) 水窪(約2,500人) 佐久間(3,428人) 龍山(約3,000人) 春野(34,895人) 計 58,823人※()は主催者発表入込客数
 各産業祭は実行委員会組織にて運営され、平成29年度から、事務局体制の刷新により市民協働の幅も広がった地域も見受けられた。区も市民協働の観点から構成団体として参画している。全ての産業祭における人出は、実施日の天候に左右されることも大きな要因でもあるが、従来から五つの産業祭を「北遠秋まつり」と題し、晩秋から初冬となる11月に地域の特色をPRし連帯感をもって開催している。近年では区外からより多くの来場が図られるよう山フェスイベント(10月19日(土)・20日(日)、浜松城公園)にて「北遠秋まつり」のポスターとスタンプラリー用紙を配付し、来場の呼び掛けを行い交流人口の拡充に努めているが目標値には達していない。(令和元年は昨年比3.0%増)

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・交流人口の増加を図るべく、それぞれ地域の歴史や文化など地域の特色あるイベント開催に努め、地域の魅力発信を図った。連帯感と各会場への来訪を図るためスタンプラリーを実施したところ267件の申し込みがあった。(前年度:207件、29.0%増)
- ・出店料の見直しやイベントの有料化を行うなど、自主財源の確保に努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・各地域の歴史や文化など地域の魅力が発信できるイベントの開催
- ・各会場間の連携と回遊できる仕組みづくり(スタンプラリー)の継続・実施
- ・参加型体験イベントにおける参加料や開催協賛金徴収など、自主財源の確保
- ・独創性を発揮できる体制づくりに努め、事業の活性化を図っていく。

補助シート (事業名) 天竜区交流促進事業(負担金)

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 森林のまち童話大賞事業

◇事業目的・事業対象

森林を題材とした童話を全国から募集し、最優秀作品を絵本にして発行する。
 自然豊かな浜松市のPRと未来を担う子ども達へ森林の大切さを発信する。

◇事業の概要

3年を1サイクルとして実施。

- 1年目(R2年度) 作品募集の準備(印刷物の作成・発送)
- 2年目(R3年度) 作品募集・取りまとめ・審査、表彰式
- 3年目(R4年度) PR事業

※R1年度までに6回の事業(公募、出版)を実施/3年1サイクル(第1~5回)・4年1サイクル(第6回)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H28	R1	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	5,034	1,000				
	決算	4,920					
	国・県支出						
	市債						
	その他	473	88				
一般財源		4,447	912				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	○ 15.2
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

浜松市の中山間地域の約9割を担う森林がもたらす自然資源や林業による経済資源を、地域の魅力のプロモーションのひとつとして活用していく。
 森林がもたらす恵みや大切さを、次代を担う子供たちに伝えていく。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
表彰式来場者数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	20	—	—	—	20	—	—
実績値	65						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

平成28年度から4年を1サイクルとして事業展開。
令和元年度(4年目)は、PR事業として市民団体による大賞作品のミュージカル公演を実施した。

(参考)

- 2年目/H29年度 作品募集・取りまとめ・審査
- 3年目/H30年度 表彰式・大賞本の出版、配本
- 4年目/R1年度 PR事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・市総合計画に未来ビジョン「つくる(文化)」「たかめる(林業)」「いかす(エネルギー)」「めぐらす(環境)」「つなぐ(都市と中山間地域)」「はぐくむ(教育)」に合致し、複合的な成果が期待できる事業である。
- ・成果のひとつに、市民団体による大賞作品のミュージカル公演があげられ、市民協働による区のPR事業へと発展している。

日時 令和元年9月23日(月・祝)
会場 アクトシティ浜松大ホール
来場者 1,200人

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

H27年度までは3年に1回のサイクルで、全5回を実施。第6回(H28～)からは事業を見直し、4年に1回のサイクルで実施。事業費のスリム化を図った
しかし、第6回事業の評価が高く、第7回(R02～)は、事業サイクルを再度3年に戻し実施する。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・H28からの第6回事業は、事業を見直し、4年に1回のサイクルで実施し事業費のスリム化を図ったが、内外からの本事業に対する評価が高く、今後は3年に1回のサイクルに戻し事業実施する。
- ・区を代表する事業としての事業価値を高め、引き続き積極的なPRに努める。

補助シート (事業名) 森林のまち童話大賞事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
〇〇				
〇〇				

事業シート (事業名) 天竜区駅伝大会事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

風光明媚な天竜区の景色を楽しむとともに、市民の「見るスポーツ」「するスポーツ」「支えるスポーツ」推進を図るため、各地で行なわれる駅伝大会の開催を支援する。

◇事業の概要

第7回 船明ダム周回駅伝大会 令和2年11月開催予定
 第48回 天狗の里駅伝大会 令和3年1月開催予定
 第48回 佐久間駅伝大会 令和3年1月開催予定
 第69回 北遠駅伝大会 令和3年2月開催予定

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	3,845	3,845				
	決算	3,845					
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,000	3,000				
	一般財源	1,845	845				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
参加チーム数(チーム)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	270	270	270	270	270	270	270
実績値	253	250					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

第6回 船明ダム周回駅伝大会 令和元年11月24日開催。58チーム(324人)参加
 第47回 天狗の里駅伝大会 令和2年2月2日開催。59チーム(295人)参加
 第47回 佐久間駅伝大会 令和2年1月26日開催。90チーム(450人)参加
 第68回 北遠駅伝大会 令和2年2月9日開催。43チーム(258人)参加

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

昨年並みの250チームが参加し、市民の「みるスポーツ」「するスポーツ」「ささえるスポーツ」推進を図られたが、目標達成に向け、引き続き参加チームの増加に向けた対応が必要である。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・実行委員会で情報交換をしたが、新たな自主財源の確保には至らなかった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・今後も自主財源の確保を図る。
- ・大会周知を行い、参加チームの確保を図る。

補助シート (事業名) 天竜区駅伝大会事業(負担金)

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
〇〇				
〇〇				

ICTの利活用状況 (事業名) 天竜区駅伝大会事業(負担金)

■今までの取組と効果

概要	
効果	
	○…高い効果が得られた ×…利活用無しまたは見直しが必要
	△…一定の効果が得られた
得られた効果の具体的な内容(該当する項目にチェックを入力 ※複数選択可)	
<input type="checkbox"/> 業務効率化	<input type="checkbox"/> コスト削減
<input type="checkbox"/> 地域経済の活性化	<input type="checkbox"/> セキュリティ・信頼性の確保
	<input type="checkbox"/> 行政サービスの利便性向上
	<input type="checkbox"/> その他の課題解決

■今後の取組

取組区分								
<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 継続							
<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小							
利活用の方向性(該当する項目にチェックを入力 ※複数選択可)								
<input type="checkbox"/> 新しいICTツールの利活用	(活用例) >AI、IoT、RPA等の利活用							
<input type="checkbox"/> 多種多様なデータの利活用	(活用例) >ビッグデータ、オープンデータの利活用							
<input type="checkbox"/> 行政手続きのオンライン化	(活用例) >手続きの電子化、ペーパーレス化 >マイナンバーカードの利活用							
<input type="checkbox"/> クラウドの利活用	(活用例) >クラウドサービスの利用 >データセンター利用(遠隔地データ保管含む)							
概要								
導入計画(該当年度に次のとおり記入 ○…本格導入 △…実証実験等 ●…○、△が同一年度)								
利活用内容	H30	R1	R2	R3	R4	R5~	未定	備考
1								
2								
3								